

第4回地域・まちづくり委員会を開催しました！

10月5日に第4回地域・まちづくり委員会をZOOMによるオンラインで開催しました。今回の委員会では、コロナ禍における各生協の活動状況を共有しました。コロナ以前の活動と比べて変化したこと、また現在の状況、今後の活動予定などについて報告していただきました。また、千葉市社会福祉協議会(以下、千葉市社協)より現在の地域活動の様子などの情報提供がありました。千葉市社協との緩やかな関係づくりのため、次回以降の委員会活動の参考にしていきます。



はじめに千葉市社協ボランティアセンター森所長よりご挨拶をいただいた後、第3回での委員会の内容を確認しました。次に、活動状況について意見交換をおこないました。各団体の報告は以下の通りです。

○千葉市社協：コロナによる活動の影響が出始めた2月から地区部会活動に対するガイドラインやお知らせを配布し、随時情報提供をしています。「ふれあい食事サービス事業」は形態を変更し10月から再開予定です。高齢者の活動は7割近くが自粛とみられます。このような状況下では地域活動ボランティアのモチベーションの低下が心配されるため、現況の情報提供や会議の実開催などをおこなう地区部会もあります。また高齢者のペア電話や子育てサロンなど工夫しながら活動をしています。社協では緊急小口資金の特例の貸付相談もおこなっていますが相談件数の増加に伴い地域担当職員も対応しており、人手不足が生じています。

○コープみらい：実開催の子供向けのエコプログラムを、使用する用具を個別とし、講師として職員が参加者一人一人に対応するなどの細心の注意を払いながら開催しました。実開催を望む声もあるため、対応をしていきたいと考えています。オンライン開催の取り組みはでは、実参加とオンライン参加を合わせてベビーマッサージの講座を行いました。オンライン講座での参加は、周囲の方への気兼ねなく子どもと参加できるため良かったとの声もありました。オンライン参加と実参加の両方の可能性がみえた取り組みでした。

○パルシステム：現在実開催での活動は全て中止ですが、会議室や施設を活用した組合員活動については新たなガイドラインを作成し、11月からの再開に向け準備を進めています。しかし保育、調理、試食、飲食を伴う企画は当面の間中止という判断です。移動販売車は野田市内を週に3コースを2日ずつ現在も巡回しており、高齢者の方も来ていただいています。サロンについては行政基準を順守しながらシルバーサロン、子育てサロンを再開しました。シルバー世代を対象に介護予防、認知症予防体操をおこなっていた習志野笑学校は、実開催は中止ですが動画撮影をおこない、YouTube「ほっと*ちゃんねる」で配信しています。フードドライブ、食材提供、NPOとの連携など地域への活動については気を付けながらおこなっています。

○生活クラブ：組合員活動はオンラインが中心ですが、対応できない組合員にはガイドラインに従い対面との併用でおこなう場合もあります。今後の映画上映会、生産者交流会や秋の対話集会などの企画にオンラインの可能性を感じています。連合会では新型コロナウイルス感染拡大緊急助成では米の支援活動に続き、生活困窮者支援活動団体へ助成を実施し、生活クラブ千葉では2021年度エコロ福祉助成事業の募集を開始しました。千葉市稲毛区で行っている安心システムでは「コロナのあれこれ」という学習会を開催し、高齢のZOOM参加者へは丁寧に参加方法を教えて当日の参加を可能にしました。

○住宅コープ：コロナ禍では、動物とふれあいながら日頃のストレスや疲れの解消やワーケーションとして家族それぞれの時間を過ごすための場としてグランピング施設の利用を組合員に勧めています。また趣味の部屋だけでなく、災害時避難用の部屋として利用できるコンテナハウスもお勧めしています。

最後に、今回の意見交換をもとに次回の委員会の持ち方について委員から意見を出していただいたところ、千葉市社協の生活支援コーディネーターがヒアリングをした地域の困りごとについて共有したいという意見がありました。

○次回以降の日程：第5回 12月 1日（火）10：00～
第6回 3月 26日（金）10：00～

以上